

5年次生による「課題探究」校内発表会を実施。

本校では、4・5年次で週1時間の学校設定科目「課題探究」を実施しています。この取組は「一人一研」とも呼ばれています。4年次には構想発表会と中間発表会があり、5年次には**校内発表会**と**論文執筆**があります。分野別に**25のゼミ**があり、**教職員全員**がチームを組んで指導・助言をしています。11月9日（水）の午後、5年次生による「課題探究」校内発表会を実施しました。目的・実施場所・特徴は以下のとおりです。

- 1 目的 (1) 5年次生全員が「課題探究」の授業の研究成果を発表することで、研究成果を認め合い、また下級生への研究啓発の場とする。
(2) 発表力の向上を図るとともに、「5年生優秀作品」を選出する機会とする。
- 2 実施場所 ◆PPT発表：1～5年次各教室 ◆ポスター発表：体育館・多目的ホール
- 3 特徴 ・5年次生全員が**口頭発表**（PPT発表（発表10分、質疑応答5分））と**ポスター発表**を行う。ポスター発表に関しては優秀研究だけというケースが多いが、**本校では両方とも全員実施にしている**。
・**1～4年次生がそれを参観する**。これからの各自の課題研究の啓発にもなる。部活の先輩の発表を楽しみにしている様子も見られ、様々な良い効果がある。

私も、皆さんの発表を見てまわりました。5年次生一人一人が自分の設定した研究課題に対して**真摯に**一生懸命取り組んでいました。**プレゼン力**がすごい生徒もいました。また、先輩の発表を**真剣な眼差し**で見ている1年次生～4年次生の姿がたいへん印象的でした。4年後～1年後の自分を想像していたことでしょう。

今回感じたことは、**文系の研究の難しさ**です。理系は実験によってオリジナリティを発揮することができますが、文系で先行研究を凌駕するのはなかなか難しいものがあります。しかし、若くて明晰な頭脳によって、たいへんユニークな研究をしている生徒もいました。5年次生は、このあと「論文執筆」があります。普段の**AL型授業**で培った「**論理力**」を発揮して、指導教官がビックリするような「**スーパー論文**」を書いてください。ポイントは、「**接続詞の使い方**」と「**語尾の表現**」です。期待しています！！

